

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
作成 平成21年11月30日

化学物質等のコード : 0325-2232

化学物質等の名称 : 3-クロロフェノール (m-クロロフェノール)

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 急性毒性物質
危険性 : 引火点は高いが、可燃性がある。
有害性 : 皮膚や眼に付着すると、皮膚や眼を刺激し、炎症を起こす
蒸気や粉塵を吸入すると、鼻、のど、気管が刺激されて中
枢神経に影響を与え、咳、呼吸困難、肺水腫などを起こす
燃焼により有害な塩化水素のガスが発生する。
環境影響 : データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品
化学名 : m-クロロフェノール
成分及び含有量 : m-クロロフェノール 97.0%以上
化学式又は構造式: ClC6H4OH
官報公示整理番号 化審法 : 3-895
安衛法 : 公表
CAS No. : 108-43-0
国連分類 : クラス6.1(毒物)等級
国連番号 : 2020

4.応急処置

目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流し、眼科医の処置を受け
る。
皮膚に付いた場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
吸入した場合 : 直ちに患者を毛布などにくるんで安静にさせ、新鮮な空気
の場所に移す。鼻をかませ、うがいさせる。
呼吸困難または呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸
を行う。速やかに医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合 : 水または食塩水を飲ませて吐かせる。速やかに医師の処置
を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 :
(周辺火災の場合) 速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する
(着火した場合) 初期の火災には、水、粉末、二酸化炭素を用いる。
更に必要があれば、泡消火器を用いる。
消火作業の際には必ず保護具を着用する。
消火剤 : 粉末、二酸化炭素、泡、水

6.漏出時の措置

飛散した場所の周辺にはロ-プを張るなどして人の立入りを
禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する、風下で作業を
しない。飛散したものは、できるだけ掃き集めて、空容器に回収し、
そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
この場合、濃厚な排液が河川などに排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 皮膚に付けたり、蒸気や粉塵を吸入しないように適切な保
護具を着用する。
保管 : 密栓して冷暗所に保管する。

危 規 則 : 毒物類
航 空 法 : 毒物

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共立出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。